

トピックス バーミンガム大学と包括的共同研究協定を締結しました

鉄道総研は、9月23日にイギリス・バーミンガム市にあるバーミンガム大学鉄道研究・教育センター（Birmingham Centre for Railway Research and Education, 以下、BCRRE）と、同大学において包括的共同研究協定書の調印を行いました。

BCRREは、イギリス国鉄が有していた技術の一部を引き継ぐ形で鉄道技術に関する研究・教育に取り組んでおり、年間の予算は約500万ポンド、研究分野は、車両空力特性、状態モニタリング、列車運行システム、気象防災、地盤土木、エネルギーマネジメント、ビッグデータ、環境、安全など、多岐に渡り、これまでも研究者間の交流を行ってきました。今後もさまざまな分野での共同研究や人材交流をすることで、鉄道のさらなる発展、および学術・技術の発展に資することを目的に、BCRREとの間で海外の機関としては初めてとなる包括的共同研究協定を締結し、連携関係を強化することにしました。

今回の包括的共同研究協定の枠組みでは、(1)共同研究の実施、(2)年次会合および共同研究セミナーの開催、(3)人材交流などを行います。



包括的共同研究協定書に署名した鉄道総研熊谷理事長(左)とバーミンガム大学アンディ・スコフィールド副学長(右)